

## 第3回 パラグライダー体験

空を飛びたい。誰もが一度は描くロマンではないだろうか。山梨の空は豊かな自然も相まって、季節、天候、時間により多様な表情と色を織り成す。そんな美しい空の下で生活していると、必然的に空に関心を抱く機会が多いはず。空を美しいと感じられる素敵な感性を持っている人には、下から眺めたいつもの視点ではなく、優雅に空を飛ぶ鳥達と同じ目線の光景をその目に焼き付けることを奨めたい。富士山とランデブーという山梨ならではの豪華なオプションをもちろん満喫でき、晩秋の季節、紅く染まった山々が描く美しいコントラストも味わえるだろう。

誰でも手軽に、自由な飛行ができるパラグライダーは飛行機と同様、気流を利用し、コントロールして長時間の航行をする性質上、風を読むことが非常に重要だ。安全性や高所に不安を抱く人も当然多いと思うが、パラグライダースクール代表を務めるベテランの水野さんがタンデムフライトで優しくエスコートしてくれるので風や飛行に関する知識のない初心者でも安心してトライできる。<sup>\*1</sup>「この後、風が来ますから、それに乗っていきます」水野さんが見えない風を鋭く察知して、スタートの合図をくれたら走るだけ。体に装着したハーネスとライン<sup>\*2</sup>とライン<sup>\*3</sup>で結ばれた主翼が風の抵抗を受け上昇気流を取り込んでテクニクオフ。まるで魔法の絨毯のようにふわりと空中へ舞い上がっていく。左右の体重移動で旋回しながら、頭上に昇った太陽の日射しを

女子コミ名  
あずさ2号



女子コミとは…  
女子会のコミュニケーションハブを受け皿として、山梨ならではの「ムジシ」の要素を取り入れ価値観や趣味を共有し定期的に活動しているコミュニティです。

浴びる姿は、まさに翼を広げた鳥のようだ。ハーネスに身を預け、風を受けながら飛ぶのはヘリコプターや旅客機では味わえないパラグライダーならではの開放感。「怖がる暇もないほど楽しかった！」と、フライト前の不安だった表情が嘘のように、今回パラグライダー体験をした「空ガール」たちが、とびきりの笑顔で話してくれた。絶好のフライト日和に恵まれ、無事にフライトを終えた表情は清々しく、いつもは見上げている空からの景色の素晴らしさを物語っていた。普段の日常生活ではなかなか体験することができない、非日常な体験は心に刺激と活力を与え、新しい視点をもたらしてくれる。空の持つ美しさへの憧れをそのままにせず、ぜひとも一歩踏み出して大空へと羽ばたいてみてほしい。

\*1 今回体験したタンデムフライト(2人乗りのパラグライダーでインストラクターと一緒に高々度飛行を体験)の他に1人で低空飛行するソロフライト体験や、フライト技能取得のための各種コースがあります。詳しくはスクールまでお問い合わせ下さい。

\*2 ハーネス…背負う型で装着する、パイロットのシート部分。

\*3 ライン…ハーネスを装着したパイロットと主翼を繋ぐファイバー繊維。

※天候や気象状況によってフライトが不可能な場合があります。安全性は確保されていますがインストラクターの指示に従い正しくパラグライディングを楽しみましょう。

OXY CLUB (オキシクラブ)  
パラグライダースクール  
〒401-0305 山梨県南都留郡富士河口湖町大石 269  
TEL 0555-76-7771 FAX 0555-76-7772  
<http://oxy-club.net/>

小宮山可奈  
山梨学院短期大学を卒業、  
現在、株式会社早野組総務部勤務。



Kana Komiyama

在学時の仲間たちとの思い出は、  
今でも元気づけられます。  
家族との絆も大切にしています。



Kanojo

羽田真実  
山梨学院大学を卒業、  
現在、株式会社早野組総務部勤務。



Mami Hada

体力的には大変だけど、  
バスケットを通して、  
今後も人との関わりを大事に  
していきたいです。

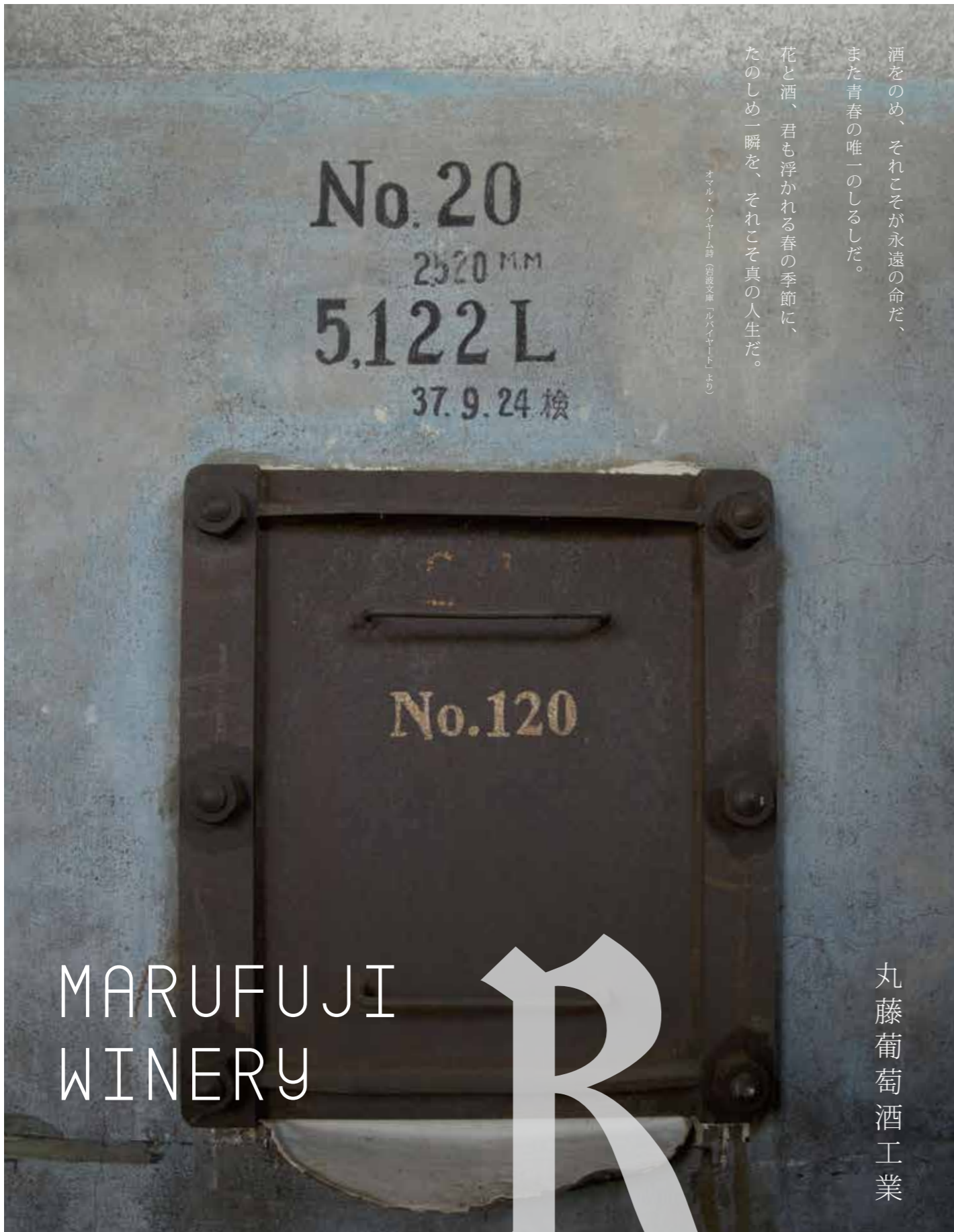


小宮山可奈さんと羽田真実さんは、建設から介護、販売サービスまで幅広い事業を展開する総合建設企業、株式会社早野組の総務部に勤務している。可奈さんは山梨学院短期大学を経て入社3年目、真実さんは山梨学院大学卒業で入社2年目。

可奈さんは山梨学院短期大学在学時に吹奏楽部でフルートを担当。短期大学と大学の合同部であったため、吹奏楽を通して交流の場を広げることができたという。感情表現が豊かで愛らしく、来客の際には積極的に挨拶し、コミュニケーションをとることを心掛けている。「仕事を通してビジネスマナーをたくさん身につけて会社に貢献し、品格のある女性を目指します」と並々ならぬ向上心が窺えた。

清閑な立ち姿が美しい真実さんは、小学校から大学までバスケットボールを続け、現在は仕事をしながらWJBL（バスケットボール女子日本リーグ機構）に所属する山梨クィーンビーズに在籍。アスリートと社会人というハイブリッドなライフスタイルを送っている。「仕事とバスケットを両立できる環境にいられることに感謝しています」と仕事とバスケットに励む毎日。

二人は年齢が近いこともあり職場では互いに支え合える存在。対照的な個性を持つ二人の「彼女」たちは、高い志を持ち感謝の気持ちを忘れず、美しく成長している。



酒をのめ、それこそが永遠の命だ、  
また青春の唯一のしるしだ。

花と酒、君も浮かれる春の季節に、  
たのしめ一瞬を、それこそ真の人生だ。

オマール・ハイム詩(訳文庫「ルバイヤット」より)

丸藤葡萄酒工業

MARUFUJI  
WINERY

愛する人へ贈り物を

恋するワイナリー

## 山梨県産ワインの歴史を築き守り続ける 丸藤葡萄酒工業

明治 23 年に創業された丸藤葡萄酒工業は、四代にわたりワイン造りを行っている。四代目の大村春夫さんは、東京農大を卒業し、ボルドー大学でワインを学んだ後、勝沼に戻ると本格的にワイン造りを始めた。

伝統品種である甲州種を使ったシュール・リー製法や樽貯蔵による新しいワインスタイルを普及させ、カベルネ・ソーヴィニヨン、メルロー、プティ・ヴェルドー、シャルドネ、ソーヴィニヨン・ブランなどの欧州系品種を自社畑栽培も行っている。社長自ら収穫を行っている姿からは、優しく情熱あるワイン造りへの思いを垣間見ることが出来る。

努力を重ね長い間、様々な可能性に期待を寄せた結果からワイン造りへの感覚は研ぎ澄まされていった。その結晶としてこれまでに造りあげてきた数々のワインは、県内外で高い評価を受けている。山梨県産ワインを世界で愛されるワインへと成長させるワイナリーとしてこれからも目が離せない。



大村春夫 Haruo Ohmura  
丸藤ワイナリー

〒409-1314 山梨県甲州市勝沼町藤井 780 TEL 0553-44-0043  
工場見学は随時承っております。  
平日は午前 9 時～午後 4 時。土日、祝日の見学は事前に予約をお願いします。  
<http://www.rubaiyat.jp>

## FAVORITE

春夫さんのおすすめ

### 甲州シュール・リー

淡い黄色。和食に合うワインをテーマにシュール・リー製法で、より辛口なはつらつとした香りと厚みのある味わいを表現。香味を残すべくあまりろ過をしていない。勝沼産甲州種 100%。



シュール・リーとはフランス語で「オリの上」という意味で、ロアールの河口のムスカデ・ワインに古くから利用されている。シュール・リー製法による醸造は、辛口・白ブドウ酒に適用される。日本では 1983 年から甲州種に実用され始め、オリ引きをせずに長期にオリの上にブドウ酒を貯蔵する方法はフレッシュでフルーティな香味を保持し、オリ(酵母)が自己消化して、ブドウ酒に酵母の旨味を与え、豊かな味となることにより、苦味が感じにくくなるなどが利点である。

オススメのマリアージュ...

甲州はすっきりとした淡泊な味わいなので、甲殻類にレモンを添えてマリネした料理などが良く合う。

## POINT 01

五感でワインを感じ  
ワイン Diary をつけてみよう。

ワインを飲んだ日付けはもちろん。その日の天気のこと、飲んだ場所、ワイン名、色合い、味わい、一緒に食べた料理など、些細なことも記録しておく、味わいをよりリアルに思い出することができる。最近では、スマートフォン用のアプリも多数あり、それらを利用して、ラベルの写真などと併せてワイン Diary が簡単につけられるようになっている。

## POINT 02

一度開けてしまったワインは  
冷蔵庫保管しよう。

一時保存(一週間以内)であればラップをしたコルクをねじ込んで空気が通りにくくすると酸化しにくい。冷蔵庫内にスペースがあれば寝かせておくとうまい。ワインボトル内の空気を吸い出し、真空化させる商品も手軽に手に入るの、沢山のワインを一度にテイस्टイングしたい人にはオススメ。

## WINE+TOURISM YAMANASHI

ワインツーリズムやまなし 2013 秋  
11月9日(土)・10日(日)開催。

地場産業であるワインを使って地域を元気にしていこうという考えのもと開催される「ワインツーリズムやまなし」。ワイナリーの方ももちろん、ぶどうを栽培している農家の方々、ボランティアをしていただいている地域の方々などぶどうとワインの産地を支えている方々とのコミュニケーションをお楽しみください。 <http://www.yamanashiwine.com/>

# 編集長が行く。

今回は、静岡のクレマチスの丘だよ。



Editor-in-Chief will go vol.120 'Clematis no Oka'

第二回 クレマチスの丘

花々が咲きほころぶ丘の上から日々の生活を振り返って自身に寄り添える時間でした。伊豆の山々を望む富士山麓に位置するクレマチスの丘は、ベルナルド・ビュフェ美術館、ヴァンジ彫刻庭園美術館、IZU PHOTO MUSEUM、井上靖文学館をはじめ、庭園、レストランなどが一体となった複合文化施設です。今回は、ヴァンジ彫刻庭園美術館とIZU PHOTO MUSEUMのあるクレマチスガーデンエリアを訪ねました。

イズ・フォト・ミュージアム

## IZU PHOTO MUSEUM



IZU PHOTO MUSEUM (内装・坪庭) の設計は現代美術家として国際的に活躍する杉本博司氏によるものです。

エントランスホールや展示空間には万物のありのままの美しさを尊重する杉本博司氏の世界観が広がり全体を調和させているように感じます。

IZU PHOTO MUSEUM コレクション展「ふたたびの出会い」  
会期:2013年4月21日(日)ー9月29日(日)  
時間の経過とは裏腹にそこに存在し続ける記憶と記録。写真が可能にした様々な出会いに改めて感動することができます。  
杉本博司、古屋誠一、無名の写真家や職人が制作した写真からさまざまな次元での写真をめぐる「ふたたびの出会い」をご覧ください。

### information

#### IZU PHOTO MUSEUM

入館料：  
大人 800円(700円)  
高・大学生 400円(300円)  
小・中学生 無料  
( )内は、20名様以上の団体料金です。

休館日：  
毎週水曜日(祝日の場合は、その翌日)  
年末年始  
※IZU PHOTO MUSEUMは、企画展開催期間以外は休館となります。

#### Vangi Sculpture Garden Museum

入館料：  
4月~10月 11月~3月  
大人 1,200円(1,100円) 大人 1,000円(900円)  
高・大学生 800円(700円) 高・大学生 500円(400円)  
小・中学生 500円(400円) 小・中学生 無料\*  
( )内は、20名様以上の団体料金です。  
※特別企画展を除きます。  
他館共通券もご用意いたしております。

休館日：  
毎週水曜日(祝日の場合は、その翌日)  
年末年始

#### 開館時間(共通)：

1月	10:00 ~ 16:30
2・3月	10:00 ~ 17:00
4・5・6・7・8月	10:00 ~ 18:00
9・10月	10:00 ~ 17:00
11・12月	10:00 ~ 16:30

◎ご入館は、開館 30分前までになります。

BUS STOP  
バス停

Flower Shop P  
Biotopo Garden  
フラワーショップ ビオトープガーデン  
Boutique Clematis  
ブティッククレマチス  
NOHARA BOOKS  
ノハラ ブックス  
CIAO CIAO  
ピッツェリア&トラットリア チャオチャオ

Ristorante Primavera  
リストランテ プリマヴェーラ

White Garden  
ホワイトガーデン

Gardener's House  
ガーデナーズハウス

## Clematis Garden

クレマチスガーデン



丘から見渡せる庭や山々のパノラマは作品をより美しく映し出しています。

作品と向き合っているうち、作品によって自身の姿を見つけ、作品の美しさに憧れながら自身と向き合う不思議な体験をしました。

tessen  
日本料理 テッセン

Ticket Center  
チケットセンター



## Vangi Sculpture Garden Museum

ヴァンジ彫刻庭園美術館



ジュリアーノ・ヴァンジ  
「ヴァンジと女性像」展  
Vangi e la figura femminile

会期：2013年6月1日(土)ー9月30日(月)  
新たに常設展示に加わる木彫女性像《Verità(真実)》を中心に、コレクションから女性像を選んで大ホールに展示しています。

ヴァンジと女性像にはブロンズ、大理石などが使用されており、素材本来の強さに滑らかさ、揺るぎない繊細な美しさを感じさせてくれます。

また、表現する女性の内面を神秘的に映し出しながらも、リアリティー溢れる姿で人間が持つ様々な側面が複雑に入り組んでいます。ヴァンジが作品のテーマとして常に意識していた、移ろいゆく時代のなかで変わるものと変わらぬものを見極め、現代の考えで蘇らせた作品の数々は、芸術が多角化される現代においても十二分に納得できる作品でした。

